

視機能とビジョンケアの ブレイクスルー

日時 2015年5月31日(日) 11:55~12:55

会場 第2会場 金沢市文化ホール 2F 大集会室

〒920-0864 石川県金沢市高岡町15番1号

座長



大久保 真司 先生
金沢大学

座長のご挨拶

外来で「車の運転は大丈夫でしょうか?」「何とか免許更新できないだろうか?」「何とか新聞を読みたいのだけど?」「自分で手紙を書きたい。」という言葉を目にしませんか?

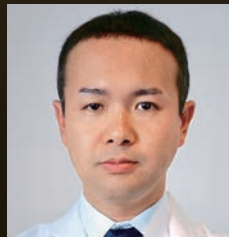
眼科の患者さんの、関心事は様々ですが、地方に住む患者さんの最も高い関心事は、自動車運転と思われる。自動車運転において、どのような視野障害でどのような場面が危険か?視野障害のある人はどのような注意が必要か?我々はどのようなアドバイスを送れるのか?非常に難しい問題です。そこで、国松先生にドライビングシミュレーターを使った新しいビジョンケアというテーマでお話し頂きます。現在iPadやiPhoneなどのデジタルデバイスは、広く用いられているようになってきました。しかし、その機能をフルに活用されている人は少ないように思います。また、デジタルデバイスの中でもiPadやiPhoneは、視覚障害や聴覚障害などの様々な障害を持つ人たちの利用を考慮したユニバーサルデザインと障害者補助機能であるアクセシビリティ機能が充実していることを知っている人もまだまだ少ないように思います。ましてや視覚障害者の人は、詳細にかかれた解説本などを読むことは困難なことが多く、有用性を知らなかったり、活用できていないケースが多いと思います。三宅先生にiPad、iPhoneを使った新しいビジョンケアというテーマでお話し頂きます。本日は、ビジョンケアに詳しいお二人の先生に、我々が知りたい、そして知っておくべき重要なポイントを、2つのテーマにしぼってわかりやすく講演頂けると幸いです。

皆さんお誘いあわせのうえ、ふるってご参加ください。

演者



ドライビングシミュレーターを使った新しいビジョンケア
国松 志保 先生
東北大学



iPad、iPhone を使った新しいビジョンケア
三宅 琢 先生
東京大学
先端科学技術研究センター

セミナー演者のご紹介

現在眼科分野では、OCTをはじめとした画像解析装置の進歩により患者さんの眼の状態を正確にかつ定量的に評価可能になってきています。また、視力検査や視野検査によって、日々視機能を評価しています。しかし、通常の診療ではなかなか患者さんのquality of vision (QOV)の評価や視機能を活用するビジョンケアまで及んでないことが多いように思います。

国松志保先生は、視野障害と交通事故の問題にいち早く注目され、Hondaと共同で緑内障用のドライビングシミュレーターを開発されたこの分野の第一人者です。

三宅琢先生は、iPadやiPhoneの視覚障害者への普及に非常に貢献されてこられた方です。また非常にわかりやすいプレゼンターとしても評判の先生です。このご講演が、我々が患者さんの不安や不自由さを少しでも解消するためのパラダイムシフトになることと確信しています。

共催

第4回日本視野学会学術集会

千寿製薬株式会社 / 大塚製薬株式会社